

# 企業における 裁判に負けないための 契約条項の実務



阿部・井窪・片山法律事務所 編著

A5判・398頁・定価（本体価格5,200円＋税）/978-4-417-01867-4

条項の法的意味とリスク管理の知識を獲得するために

- 契約実務で問題となることが多いテーマごとに、どのような紛争が生じ、締結した契約条項の内容がどのように結論に影響を与えたのかを分析
- 裁判例等の実際の案件を踏まえながらもコンパクトで読みやすい設例
- 複数の条項例を挙げて検討、条項の法的意味を具体的・実践的に解説

契約書作成や解釈にかかわる法律実務家必携

## 目次

本書の利用にあたって

第1章 一般条項と裁判事例【1 解除〔設例1～設例4〕, 2 損害賠償〔設例1～設例5〕, 3 準拠法／管轄〔設例1・設例2〕, 4 個人情報〔設例〕, 5 倒産〔設例1・設例2〕, 6 秘密保持〔設例1～設例3〕, 7 独占禁止法〔コラム1・コラム2〕, 8 事情変更の原則〔設例〕】

第2章 各契約類型における条項と裁判事例【9 売買契約〔設例1～設例3〕, 10 賃貸借契約〔設例〕, 11 業務委託契約〔設例〕, 12 担保・保証契約〔設例1・設例2〕, 13 M&A契約〔設例1～設例3〕, 14 知的財産関連契約〔設例1～設例3〕, 15 共同開発契約〔設例1～設例3〕, 16 投資契約〔設例〕, 17 消費貸借・準消費貸借〔設例〕】